

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	6年 外国語科 (7月) NEW HORIZON Elementary 6 Unit 3 第6時/6時間扱
②教科書を活用した授業づくり (高学年)	高知市立第四小学校 英語担当 南 博子

英語を使って、自ら考え、伝え合うことができる児童の育成

この単元では、外国について調べ、ポスターを作って、おすすめの国をプレゼンすることを単元のゴールに取り組んだ。当初は、ALT に来てもらい、プレゼンを聞いてもらう予定だったが、新型コロナウイルスの影響で実施できなかったのが残念だった。そのため、発表を聞いてもっと知りたいと思ったことなどを友だち同士で質問する活動を取り入れ、既習の英語表現を使ってのやりとりも活動の1つとした。

また、児童にルーブリックを示し、よいプレゼンにするためにはどんなことに気をつけたらいいのか、どう評価がされているのかを共有することで、児童が自ら考えながらプレゼンの方法などを改善する姿が見られた。



【発表している様子】

《 成果と課題 》

\*本校では、第4学年で高知県の特産物を、第5学年では校区の偉人や建物の紹介を行うなど、自分たちの身近なことやものを題材に学習してきた。第6学年では、「世界」に目を向けておすすめの国を紹介する内容に取り組んだが、題材が「世界」に広がったことで行ったことのない外国を紹介する難しさを感じた。しかし、児童は、興味のある国を一生懸命紹介し、「友だちの発表した国に興味があった。自分でも調べてみたい」「調べてみたら、もっとその国に興味があった。いつか行ってみたいな」と語るなど、広い視野で考えることができていた。

\*ルーブリックを使うことで、児童が評価の視点を意識して取り組む姿が見られ、パフォーマンスが向上していた。

\*どういったルーブリックにしたらいいのか悩んだが、児童への提示には態度面や内容を示したものにした。わかりやすく、児童にはよかったと思うが、指導者にとっては3観点での評価に考え直す必要があった。



いつか自分が発表した国に行ってみたいな！

ポスターに書く時も英語はすべて4線上に書き写すようにした。



【Unit 3 Let's go to Italy.】		ルーブリック	
評	評価内容	達成内容	達成状況
A	発表の準備が整っており、発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。
B	発表の準備が整っており、発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。
C	発表の準備が整っており、発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。
D	発表の準備が整っており、発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。	発表の場面で自信を持って発表していた。

【ルーブリック】



【児童が作成したポスター】

**【指導助言・アドバイス】**

高学年外国語では、教科書であることから、中高等学校外国語のように今後「Can-Do リスト形式の学習到達目標」の設定が求められることとなります。中学校では、ほとんどの学校がこれを作成していますが、それがうまく活用されていないのが現状です。この作成について難しく考える必要はありません。すでに学習指導要領には、五領域の目標が設定されており、それを基に教科書と目の前の児童の実態を踏まえて学期ごと程度に目ざす児童像を学校で共通理解を図りながら作成します。それを基に、本実践のように単元ごとにルーブリックを作成し、子供たちと共有することが大切です。そうすることで、子供たちが本単元に身に付けるべき力を意識して学習活動に取り組めるようになります。

(文科省視学官 直山 木綿子)